

8月中旬以降新型コロナウイルスが再度猛威をふるい始め、佐賀県、唐津市でも感染者が急増し、まん延防止等重点措置指定区域となり、さらなる感染症予防意識が必要となりました。

ワクチン接種に関しても「なぜ必要なのか」を正しく情報収集し、必要と思う人は接種をしてほしいと思います。

ウワサに流されず、自分の意識を高め、自分の意志で、他を巻き込まず、自身の行動を決定しましょう。

感染力が強い変異株にご注意ください!! 2021年版

## ゼロ密を目指そう!

～一つの密でも避けましょう～

- 密接しない
- 密集しない
- 密閉しない

**人と会うときは**

- 人と十分な距離を保つ!
- 混雑している場所や時間を避ける!
- オンラインの利用や時差出勤を!
- 屋外でも密接、密集を避ける!

**飲食するときは**

- 少人数・短時間で、大声は避けて!
- ガイドラインを守ったお店で! (アクリル板の設置、消毒、換気の徹底など)
- テイクアウトやデリバリーも!

**ポイント** 会話時はマスクを着用

※体調不良時の出勤・登校などはお控えください。

首相官邸 | 厚生労働省 | 新型コロナウイルス感染症対策推進 | 新型コロナウイルス感染症対策本部

変異株（デルタ株）は若い世代、10代、20代に多く感染者がいます。

学校での授業が始まり、クラスター発生の危険性が高まると言われていますが、感染症予防対策を徹底することで感染のリスクを下げるができます。

学校生活では、マスクの着用・小まめな手洗いと手指消毒・食事時の黙食の徹底をし、さらに、できる限り身体的距離をとるようにしましょう。

特に、教室の「換気」をしっかりと行ってください。変異株に対抗するためには換気が重要です!

### ワクチン接種と感染率

ワクチンは、新型コロナウイルス感染症にかかりにくくなる、ということと、重症化を防げるという効果が期待されます。

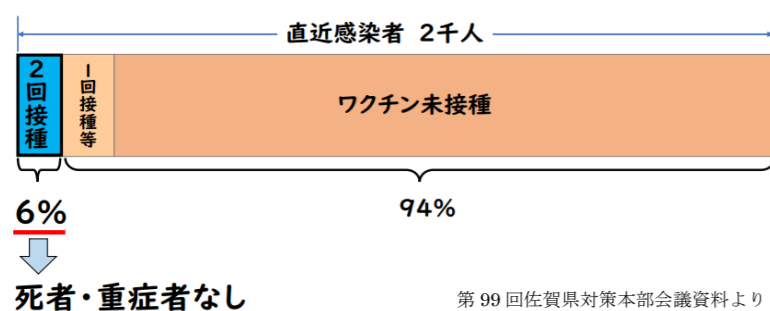
予防接種を2回終えた人の感染率は、とても低い状況があります。

現在、一般の病院では16歳以上を対象に、集団接種では40歳以上を対象に予防接種が行われています。

接種を迷っている人、情報が欲しい人は遠慮なく、養護教諭までおたずねください。

2回接種者の感染は、著しく少ない(感染者の6%)

⇒ 接種できる人はぜひ接種を



感染が心配な人は、ぜひ!活用してください!(唐津市HPより)

## 【9月12日まで】新型コロナウイルスの抗原検査を無料で行います(検査場所:さんて駐車場)

### 唐津市抗原検査センター(臨時)を設置しています

唐津市では家庭内感染、事業所や飲食店でクラスターが発生し、連日多くの感染者が確認されています。感染力の強いデルタ株による新型コロナウイルスの感染者が唐津市内において急増していることを受け、無症状の段階で感染拡大を食い止め、市民の皆さんが1日でも早く安心して日常生活を送ることができるよう、市による「無料の抗原検査」を実施しています。

現在、唐津市ふるさと会館アルピノで実施している新型コロナウイルス抗原検査について、8月31日までの設置期間終了後は、検査会場を唐津市健康サポートセンター「さんて」に変更して9月12日まで実施します。

### 抗原検査とは

新型コロナウイルスの構成成分であるタンパク質を、ウイルスに特異的な抗体を用いて検出する検査方法です。ウイルスの遺伝子を特異的に増幅するPCR検査(核酸検出検査)と同様に、陽性の場合にはウイルスが検体中に存在することを示します。

### 検査対象者

身近に感染者がいたが検査対象とならなかった人で、発熱などの風邪症状がなく、感染に不安を感じている人(風邪症状や感染の疑いのある人は対象外)が対象です。

1日あたり最大100人程度検査できます。

[注]風邪症状や感染の疑いのある人は、医療機関を受診してください。

### 検査の実施方法

#### ドライブスルー抗原検査

車に乗ったまま抗原検査を受けられます。

- 交通渋滞を避けるために、「唐津市公式LINE(ライン)での事前予約(外部サイトへリンク)(別ウィンドウで開きます)」が必要です。
- LINE予約は9月1日(水曜日)午前9時30分から開始します。
- LINE予約の詳細は「LINEでの予約方法について」を確認してください。
- 車での来場が難しい場合は、コールセンターへ事前に問い合わせください。

9月12日までの期間中、平日:14時~15時30分、休日:10時~11時30分に検査が行われます。右のQRコードを読み込み、検査の予約が可能です。





## 8月25日に原子力防災訓練を行いました

その中で、「自宅に帰って家族と一緒に唐津市原子力防災ガイドブックを確認し、避難する場合には、どこにどのように避難するのかを確認する」ように生徒たちへ伝えていきます。

この機会にぜひ、ご家族で避難場所や避難時持ち出し用具の確認をお願いします。



## なにが必要？ 非常用持ち出し袋 チェックリスト

<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> レインウェア	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 予備電池、携帯充電器	<input type="checkbox"/> 救急用品 (ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)	<input type="checkbox"/> タオル、ブランケット	<input type="checkbox"/> 洗面用具、歯ブラシ、歯みがき粉	<input type="checkbox"/> 食品 (カップ麺、レトルト食品、ビスケット、チョコレートなど最低3日分があると安心！)	<input type="checkbox"/> 衣類、下着	<input type="checkbox"/> 紐なしの運動靴	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> マッチ、ろうそく	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> ペン、ノート	<input type="checkbox"/> 防犯ブザー
----------------------------	--------------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------	---	-------------------------------------	--	--	--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

**感染症対策にも**

- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計

**女子はさらにプラス**

- 生理用品
- サニタリーショーツ
- 中身の見えないゴミ袋

貴重品 (通帳、現金、健康保険証など) も持っていきましょう！

## 原子力災害時は、公共機関からの正しい情報や指示 家の中に入る「屋内退避」

※万が一、原子力発電所から放射性物質の放出があった場合、屋外で行動していると、被ばくの  
※あわてて皆が一斉に遠くへ避難しようとする混雑や事故などを招き、かえって危険が高まる

## を待って、あせらずに落ち着いて行動しましょう。 が安全への第一歩です。\*

危険が高まるおそれがあるからです。  
おそれもあります。



## 8 避難が必要になったら

避難(一時移転)の指示が出たら、あわてずに指示内容をよく確認し、指定された場所へ避難してください。

**正しい情報を入手しましょう**

県・市からテレビ、ラジオ、防災行政無線、メールなどの手段により避難指示が発令されます。(10ページ参照) どのように避難するか正しい情報を入手しましょう。

**ガスの元栓をしめ、電気のコネクトを抜きましょう**

戸締まりも忘れずにしましょう。

**放射性物質から身を守りましょう**

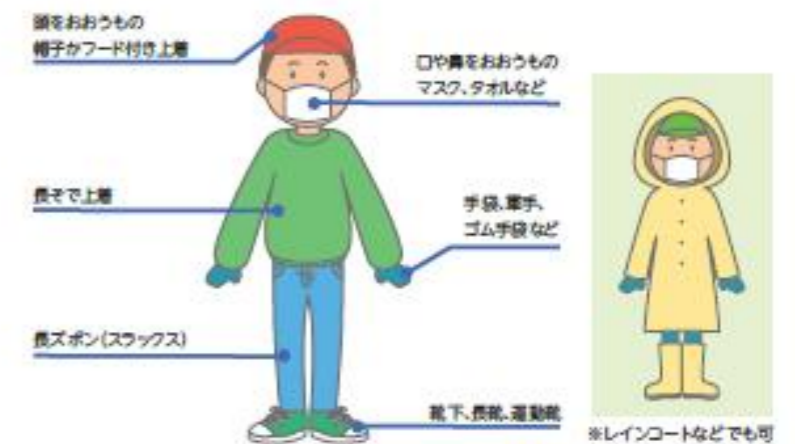
避難の際は、服の静電気を除去し、マスクか水で濡らしたハンカチで口や鼻を覆うなどして、汚染や放射性物質の吸い込みによる内臓被ばくを防ぎましょう。

**自家用車やバスなどで避難しましょう**

自家用車による避難のほか、集合場所に集合し、県や市が手配するバスなどで避難しましょう。また避難の際は近所に声をかけましょう。

### ○避難時の服装

避難するときには、次のような、できるだけ直接肌を出さない服装に心がけましょう。



**コンクリートの建物への屋内退避がより安全です。**

●テレビやラジオ、緊急メールなどから正確な情報を確認。

●緊急を要する用事以外は電話を使用しない。

●不要な外出を控え、指示があるまで自宅などで待機。

●屋内にいたことが安全への第一歩

屋内退避後に避難指示が出たら...

●防災行政無線などの情報に注意する。

●国や県、市の情報に従い、うわさやデマに惑わされない。

●避難するときには、できるだけ直接肌を出さない服装に心がけましょう。